# 日進が2連覇

## 粉河をタイブレークで破る

### 第63回県中学野球大会紀北の部決勝

第63回県中学校野球大会野球大会紀北の部準決勝、決勝が5日、紀三井寺公園野球場で行われ、日進（和歌山市）が2連覇を達成した。粉河（紀の川市）との決勝戦は、日進がリードを奪えば、粉河もすぐに追い付く接戦となり、2－2のままタイブレークに入った8回、日進は平田の右前適時打、東出の中犠飛で挙げた2点を、7回から救援した近藤の力投と堅実な守備で守り切り、再び優勝旗を手にした。日進と粉河は、6月18日に御坊市民球場で開かれる県大会に出場、紀南の代表校と激突する。

◇準決勝

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東和 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | | | | | | | | | | | |
| 粉河 | 0 | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | × | 5 | | | | | | | | | | | |
| 日進 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | | | | | | | | | | | |
| 東 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | |
| 日進 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 | | | | | | | | | | |
| 粉河 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | | | | | | | | | | |

◇決勝

大会には和歌山市をはじめ伊都地方から有田地方までの49校40チーム（合同9）が参加。4月29日から5日までゴールデンウイークを利用して、7会場でトーナメント戦が繰り広げられた。

最終日は4強が熱戦を展開、決勝では東を完封で下した日進と、東和に逆転勝ちした粉河が顔を合わせた。

初回1死満塁のピンチを切り抜けた日進は3回、先頭西の左翼線打を足掛かりに1死1、3塁を攻め近藤の右犠飛で1点を先制した。その裏同点とされたものの、4回には佛、村上の連打で1死1、3塁とし上野のスクイズで1点を勝ち越した。

5回には粉河も反撃、2死3塁から直の左前適時打で再び試合を振り出しに戻した。終盤は両チーム無得点のまま、8回からタイブレークに入り、無死満塁で再開した。先攻の日進は平田の右前適時打で1点、さらに1死満塁から東出が中堅へ大飛球、2度のパント失敗を挽回する犠飛で貴重な追加点を挙げた。

守っては、走者を出しながらも粘り強い投球を見せた先発の平田を、7回から近藤がつないだ。右横手投げの平田に対し、本格派の近藤は左腕からの速球がさえ、7回は三者凡退、8回裏も1死満塁から内野安打で1点を許したものの、続く2打者を投飛、三振に仕留め、熱戦を締めくくった。

日進の松岡監督は「この大会は、慌てず自分たちのペースで野球ができた。決勝では、粘り強く全員野球で集中して試合に臨めた。県大会すだけでなく、最終目標の全日中大会出場へ向け頑張る」と話した。

粉河は、西主将も「決勝が今までで、一番苦しかったが、チーム全員で相手に向かっていった。気持ちでも勝っていた。次は県大会優勝だ」と力強く意欲を示した。

《日進》監督＝松岡修平▽コーチ＝竹本直樹▽マネジャー＝塩崎悦子▽主将＝西真輝▽選手＝近藤陽樹、北原怜真、北崎健吾、池田光我、西本圭吾、上野秀太、佛颯馬、平田宗一郎、前田凜々子、打田公平、本田泰章、助野一翔、東出脩汰、村上洸誠、北川稔也、進藤慧太郎、藤本雅、楠本祐斗、和泉愛斗

《粉河》監督＝内垣悠一郎▽主将＝木村壮吾▽選手＝玉置修伍、林隆佑、梅本堅太、児玉翔、川本怜、寺浦紀樹、児玉啓晟、根来哲平、村田朋紀、中井恵斗、西林斗馬、劉賀男、直撃大、山地泰綺、小林照、前田鳳斗、栗原大河、辻亮佑、小林拓人

試合結果

◇3回戦＝河西9－4打田▽東和6－2西浜・西和▽貴志3－2石垣・吉備▽粉河6－4岩出▽東1－0紀見東▽下津二5－0紀伊▽日進7－0紀之川▽箕島9－4耐久

◇準々決勝＝東和2－0河西▽粉河1－0貴志▽東2－0下津二▽日進5－1箕島

2連覇を飾った日進

日進・平田投手

初回先制許さず！　粉河の攻撃を本塁封殺する日進

日進・近藤投手

8回日進・東出の犠飛で4点目

4回日進・上野のスクイズで着実に追加点

粉河・梅本投手

準優勝と健闘した粉河

## 和大初Vへ手応え

近畿学生野球・奈良学大と並ぶ